

ティーポが創るアルファ・ロメオ「ONE MAKE CLUB」マガジン!

NEKO MOOK 330

Tipo
Dramatic
Car magazine

ALFA & ROMEO

VOL.

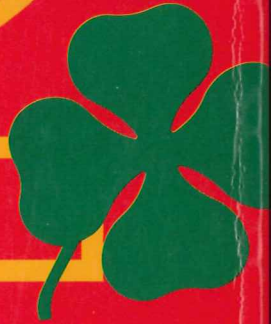


アルファ&ロメオ2



ALFA156GTA ファースト・コンタクト ALFA147 MT & チューンド・モデル速攻インプレッション

- イタルデザイン発 アルファ・ロメオ「プレーラ」登場!
- アルファ・ロメオ・チャレンジ第1戦レポート
- レーシング・マシンの血を受け継ぐ4気筒エンジンの歴史
- スタッフのアルファ・ロメオ●イタリア現地情報&コラム
- イタリア人になっちゃおう! プロジェクト「デロンギ」
- キミは「アルフェッタ」を知っているか!?
- 105%ジュリアで行こう!



155から始めようぜ。

チューンドモデル&ヒストリー総力特集



田中むねよし

イラスト&エッセイ「HEART DIARY」



ドイツに本拠を置くノヴィテック

Novitec®(tel:054-277-0753)

ノヴィテックジャパン (http://www.novitec.co.jp) の所在地は静岡県静岡市牧ヶ谷2046。充実した設備を誇る。

NOVITEC Alfa Romeo 147 2.0 compressor

SPECIFICATION

ノヴィテック147

- エンジン/2.0ℓ直列4気筒ツインスパーク・スーパーチャージャー
- 最高出力208ps/5800rpm 最大トルク27.7kg-m/5350rpm
- 最高速度239km/h
- ステンレス・スチール・エキゾーストシステム
- フロントスポイラー、サイドパネル、リヤスカート、ルーフスポイラー
- 車高調整式スポーツサスペンション(35~70mmローダウン)
- アルミ製ストラットタワーバー
- 225/40R18 (ミシュランもしくはピレリ)
- アルミホイール type N5 8JX18inch
- ブレーキ製 4ピストンブレーキ・システム 322mmドリルドローター



**スーパーチャージャーで
武装したゲルマンの勇!**
全域にわたった楽しめるトルクフルなエンジンを搭載するノヴィテックの147。果たしてドイツからの刺客は性能面と共に環境問題をも克服していたのだ。

アルファ156にターボチューンを施すなど、愛車に速さを求めるアルフィスタから絶大な支持を受けるノヴィテックから、147にスーパーチャージャーを装着したマシンが登場した。

ターボではなくスーパーチャージャーを選択した背景にヨーロッパ排ガス規制・ユーロ3の導入に伴い高まった環境問題への配慮があったことは明白だが、そこは元ルーフに籍を置いていたエンジンによって設立されたノヴィテック。21世紀を見つめた明確なビジョンがあることとハイパフォーマンス・モデルを送り出せる実力のふたつの要素が高い次元でバランスしていることを、今回送り出したモデルによって証明しているのだ。

さて、肝心の走りだが、最高出力208psを5800rpmでマークしていることからわかるように、その低回転域から感じ取れるピクアップの鋭さは特筆ものだといえ、スベックを紐解くだけでもエンジン・チューナーとして名を馳せる「メーカー」から送り出されたクルマであることを感じ取れるのだ。

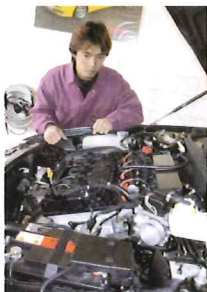
ちなみにターボチューンの際と同様、出力アップに伴い発生する熱への対策は、インタークーラーおよびオイルクーラー(なお、ECUも含め、今後キットとして発売される予定の装着によって万全の体制がとられている。また、車高調整式スポーツサスペ

ンションキット(24万5000円)およびポリシエ993用キャリパーを使用したブレノ製ブレーキコンパージョンキット(32万円/予約オーダー品)といった強力な援軍が控えていることも付け加えておく。

なお、迫力ある外観を生み出すことに貢献しているエアロダイナミックキット(18万円)や各種ホイール、そして数種類の排気システムも同時にリリースされるため、最適なモディファイ・メニューを選択しながら自分だけのマシンを仕立てる、という無類の楽しみが備わっていることも忘れずに報告しておく。

Alfa156でテストを重ねて ただけに準備は万全!

ユーロ3が発表される2年前ぐらいからAlfa156を使ってスーパーチャージャーに関するノウハウを開発していたというだけあり、各パーツは十分熟成されているといえるのだ。そのため147から初めて市販化されるとはいえネガティブな要素は皆無なのだ。ちなみにコンプレッサーの小型化に伴い、エンジンルーム内にスーパーチャージャー自体は比較的簡単に収まった。



エンジンルーム内には、アルミ製ストラットタワーバー(3万円)を装着することも可能。なお、エアフィルターは1万2000円だ。



前述のようにコンプレッサーは小型化が図られた。なお、インタークーラー、オイルクーラー、ECUとのセットでキットも販売される。



各種ホース類の取り回しもテストを重ね、完成された結果、すべてのパーツがコンパクトにまとめられている。



スポーツサスペンションkitの他、約45mmローダウンされるスプリングセット(5万円)もリリースされる予定。



フロント、リヤ、ルーフの各スポイラー、そしてサイドパネルセットといったパーツによって精悍な佇まいをみせるノヴィテックの147。ホイールはNOVITEC type N5 8JX18inchでタイヤはミシュランもしくはピレリの225/40R18 奢られる。